



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2021/10/31 Rd-7 鈴鹿サーキット

天候：雨のち曇り 気温：17℃ 出走台数：19台

観客数：30日(土)6,000人 31日(日)10,500人 合計16,500人

昨年より続くコロナ禍の中開催された2021シーズンもいよいよ第7戦鈴鹿サーキットで最終戦を迎える。

チームランキング3位で臨むDOCOMO TEAM DANDELION RACINGは、福住選手3番グリッド、牧野選手4番グリッドと、2台をセカンドロウに送り込み、チームタイトルに向け体制整えてスタートの時を迎えた。

福住選手は冷静なスタートながら2台に先行を許し5番手。牧野選手は位置取り悪く7番手でオープニングラップを周回。

先行車のペナルティに加え、1コーナーで大胆なオーバーテイクを見せる福住選手は5周目には2番手を走行。牧野選手は4番手争いを展開する。

ピットストップウィンドウの開く10周目、チームは5番手走行の牧野選手をピットへ呼ぶが、タイヤ交換で痛恨のタイムロス。大きくポジションを落としてコースに復帰することとなった。

その翌周、福住選手がタイヤ交換。福住選手は素晴らしいアウトラップを刻みアンダーカット作戦を成功させ、更にコース上でもライバルをオーバーテイク。

その後もタイヤマネジメントしながらの落ち着いた走りでレースをコントロールしトップチェッカー。

トップを快走しながらタイヤバーストでリタイアとなった第2戦鈴鹿のリベンジとなる価値ある優勝を果たし、2021ドライバーランキング2位を獲得した。

牧野選手は着々と順位を上げる中、7番手争いのシケインでの接触が危険行為と見なされ5秒加算のタイムペナルティを受けることに。

その後も随所でバトルを繰り広げるも、結果10位でレースを終える事となった。



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

5：福住選手 優勝 2021年ドライバーランキング2位

コロナの影響続く中、JRPやサーキットの努力と、ファンの皆様、チーム、協賛企業様に支えられ、全7大会を終えられたことに感謝しています。

決勝向けのセットアップには自信がありました。チームの戦略も素晴らしく、タイヤをセーブしながら、ライバルとの間合いをコントロールできる余裕もありました。

第2戦鈴鹿ではリタイアに終わり、もてぎ2連戦でも結果を残せずにいましたが、今季2勝目を最終戦鈴鹿で飾ることが出来とても嬉しく思います。

しかし、ドライバーランキングもチームランキングも2位と、目指すものには届きませんでした。

さらに強く、自分を信じる力をつけ、これからもチャンピオンを目指します。

6：牧野選手 10位 2021年ドライバーランキング9位

スタートは良かったのですが、位置取りが悪く順位を落とすことになりました。

ただレースペースは良く、4位争いの中一早くタイヤ交換の判断をしてくれたチーム戦略も良かったと思います。しかしタイヤ交換ではトラブルでタイムロスすることとなり、大きく順位を落とすこととなったのは残念です。

その後プッシュしてポジションを上げることもできました。シケインでの接触でタイムペナルティとなりましたが、レースを戦う中、絶対に引くことはできませんでした。

10位でレースを終え、チームタイトルに貢献できず悔いの残る結果となってしまいました。体調不良で序盤戦を欠場し、難しいシーズンの始まりでしたが、レースを重ねるに伴い結果もついてきて、前戦茂木では表彰台に乗ることも出来、移籍初シーズンを日々前進できたと感じています。

最高の環境を準備してくれたチーム、コロナ禍のもとサポート下さったスポンサーの皆様、ファンの皆様の応援に感謝し、さらに強くなって来シーズンに臨みます。